

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年6月19日（日）午前10時～11時30分

場 所 コンフォール上野台集会所（上野台自治会）

参加者 59 人



主な意見等

参加者 高齢福祉課からいただいた緊急支援システムの点検をお願いします。

市 長 調べて対応し、会長にご報告します。

参加者 ごみの収集車に「混ぜればごみ、分ければ資源」と書かれています。燃やすごみに雑誌などが混ざっているのをよく見かけます。ごみの処理にこれだけの費用がかかり、分別すればこれだけ減りますということ色々な場面で市民へ伝えたらどうでしょうか。

市 長 まったくおっしゃるとおりです。ふじみ野市は今、燃やすごみの量が少ない市として県内1位になっておりますが、積み重ねが大事です。分別を更に進めれば経費の節減にもなります。大人の行いを子どもたちも見ていますので、率先して分別をすることが必要だと思います。そのために、市の広報や様々な機会に話す必要があると考えられますので、ご提言を参考にして進めていきます。

参加者 ふじみ野市では0歳～14歳の子供たちが増えているということですが、子どもたちがボールを投げたり蹴ったりする場所が少なすぎると思います。小さな頃に遊びを通じて体を動かすことが大人に

なった時の健康に繋がると思います。できれば、子ども達が力いっぱい遊べる場所が作れればと思います。学校のグラウンドは部活動や学校開放で使われているので子ども達が使うことができません。空き地があればそこを使えるようにしていただけないでしょうか。

市長　これは、今抱えている課題の一つです。広い公園は、どうしてもボール遊び禁止という形になってしまいます。昔は学校でのボール投げもできましたが、今は簡単には出来なくなっています。小さなお子さんがいるとキャッチボールは危ないということになります。今、運動公園の整備を計画しており、できればキャッチボールなどが出来る場所を作りたいと思っています。また、学校のグラウンドでも空いた時間に使用できないか教育委員会とも協議をしています。のびのびと遊べる場所の確保は、みんなのゆずりあいと知恵で考えていきたいと思っています。

参加者　坂戸市の方へ研修に行った際、道で会う人みんなが挨拶をしていたので、尋ねてみると、まちであいさつ運動を実施しているということでした。子どものあいさつが良くできていて、このあいさつ運動がふじみ野市で広がれば更にコミュニケーションが図られていくのではないかと思います。

市長　とても素晴らしいことだと思います。常々申し上げておりますが、このまちに暮らす全ての市民が一つの家族のようなあたたかいまちにしたいと思っています。これは、一人一人の行動から深まっていくものだと思います。今、小中学校ではあいさつ運動を一生懸命実施しています。学校だけではなく今のお話のように街中に広がれば素晴らしいまちになると思います。何とか形にできるよう進めたいと思います。

参加者　以前住んでいた川崎市でもあいさつ運動が行われていました。あいさつ運動は、お行儀の問題では無くて、もし、痴ほう症の人などの行方が分からなくなった時にも活かされるのではないのでしょうか。例えば、子ども達に朝礼で「頭の白い背の小さなおじいちゃんを見かけなかった？」と聞いていただければ、「あそこに居た」とか「あ

そこで見た」などと答えてくれることで、行方不明の方がすぐに見つかるのではないのでしょうか。市長は、2期目で様々な活動をされていますが、これからも市民と一緒に活動していただきたいと思います。

市長 あいさつ運動は、それが広がることで、より効果が上がると思います。お話にありましたとおり、朝礼の時に「行方不明となっているお年寄りが居るけど、こんなお年寄りを見なかったかい」と子ども達に聞けば「そうだ、あそこに居たね」と言えるような活動として、良い方向に発展すれば素晴らしいことだと思います。

参加者 上福岡駅前の東口は、現在の状態で完成でしょうか。

市長 完成型ではありません。暫定整備をしています。駅前の建物との交渉などにより時間がかかります。この事業の都市計画決定が小さかったことで国の補助が使えなかったことなどが進まなかった理由でもあります。現在は、何としても進めたいということで国との交渉も進めています。

参加者 川越駅の西口の様なやり方を考えてはどうでしょうか。上を歩く方策を考えてもよいのではないのでしょうか。

市長 ペDESTリアンデッキの構想もあり、東武鉄道と交渉もしましたが難しい状況です。川越駅前は何十年もかけて行ってきました。今、再開発の計画を立て15年20年かければ出来ると思います。駅は駅を使う人だけではなく、街の玄関口でもあります。自由通路を付ける考え方もありますが、費用なども含めて全て市の管理となることから総合的に考える必要があると思います。

参加者 桜通り線の状況はどのようになっていますか。

市長 今は1期工事で、国庫補助により実施しています。せめて北野公園までは繋げたいと思っています。

参加者 市役所の東側にある郵便局近くの空き地にはイオンが来ると噂がありますが、どうなっていますか。

市長 元々は日本無線があった場所ですが、イオンが来る予定となっています。土地の用途が工業系用途となっているため、全部を一体的に開発するための地区計画の手続きに時間を要しています。これから工事を始めて来年秋ごろのオープンを予定していると聞いています。

参加者 最近、ひとり暮らしの人が増えてきました。近所の人が急病の時にどこに連絡すればよいのでしょうか。日中は役所が開いているのでいいですが、夜間の時などの対処方法を教えてください。今後ますます増加すると思います。

市長 ひとり暮らしの方の急病の対処方法につきましては、程度にもよると思いますが、基本的には、まずは119番です。医療に関しては素人で判断がつかないので、119番にかけて通信指令室の指示に従うのが良いのではないかと思います。もし、鍵がかかっていた場合には、1度市役所に連絡をいただいても結構です。土日でも守衛室で電話を受け、状況を聞いた上で関係部署に連絡がいくようになっていきます。状況次第ですが警察も可能です。慢性的なものであれば、身内の方が分かれば事前に相談しておくことや自治会の役員さんや民生委員の方などに話をしていただき、今後の対応を相談しておくことがよいと思います。

参加者 以前タウンミーティングで福岡中央公園の整備をお願いしたところ、2つの通路が出来るととても便利になりましたが、今後も公園内の整備などを考えていますか。石や木の根でつまづくことがあり、春になると風が吹いて土が舞い上がります。また、2本の通路の周りが泥だらけなので、芝生まではいかなくても歩きやすくすることは出来ないでしょうか。

市長 身近な部分が気になるとは思いますが、必要最小限の中で整備を進

めています。市内には公園も大小さまざまあります。ふじみ野市は平成18年にプールの事故がありました。それ以来、日本一安全なまちを目指そうと公共施設の安全点検週間を実施し、危険なものを直したり、撤去したりしています。特に、子どもたちの公園遊具について修繕出来ないものを外していったところ、市長は遊具を取り上げていると言われました。危ない物はすぐに撤去しますが、修繕できないものは新たな物に交換するため設置まで時間がかかることもあります。樹木の根などで歩道を持ち上げている場合にはすぐ対応します。お年寄りのことも考えると危ないものはなるべく修繕したいとは思いますが、少ないお金の配分や順番を考えながら総体的に検討したいと思います。

参加者 川越市から志木市辺りまでで合併して政令指定都市としていく構想などはありませんか。政令指定都市になれば県や東武鉄道にも発言権ができるのではありませんか。ぜひこの構想を始めていただきたいと思います。

市長 今、壮大なロマンを語ってもらいました。市長として相手があつての話なので簡単に話すことはできませんが、タウンミーティングに来られた皆様の前で私の思いを語らせていただくならば、今、国の一般会計予算は96兆円でございます。後15、6年したら国家予算の半分は社会保障で終わってしまうこととなります。これから10年20年先を考えると、負担がかかってくるのは私たちの子や孫の世代です。そして次の世代にも負担が重くなっていきます。これを少しでも効率的な運営をしていくのであれば、このふじみ野市が上福岡市と大井町が合併したように、これから後10年20年後に向けては、2市2町、富士見市と三芳町と一緒にできれば25万人、そして朝霞市、新座市、和光市、志木市の40数万人と一緒にできれば、また、所沢市、川越市と一緒にできれば政令指定都市の実現です。しかし、実現というよりも、おそらくそうしなかったら持たない時代が来ると思います。国の制度がこのまま行ってしまうたら小さな団体では持たないと思います。私は、それを見越して40年以上が経った本庁舎の建替えは行わず、増築棟だけを新しくしました。万が一広域合併をした際には、古い庁舎は壊して増築棟を出張所などとするれば利便性は保てるという長期構想を持って改修工事を行いま

した。増築棟は大井総合支所の延べ床面積と同程度としています。
将来的には、私が生きている間に政令指定都市まではできないかもしれませんが、広域的な合併は必要なことだと思います。長期的な展望をお聞かせいただき、ありがたく思っております。